



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2007-05-31

2回目の「交流磁気治療」と「骨盤矯正」を受ける。

30日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、人間が意識している外界は、現実そのものではなく、感覚が捉え脳のネットワークが作り上げたもので、ネットワークが異なれば別のもとなるだろうということ、特に量子力学の発達が開いた世界は常識を越えていると書いてあった。庭に出て一つ咲いたビョウヤナギの花を撮って仕事場に行き、日録ノートする。mixiなど見て、Blosxomblogに入れる。12時過ぎにキノコ蕎麦を作って昼食。1時半を過ぎて家を出て、小雨の中、傘差して歩いて代々木上原の駅に行き、小田急で新宿に行く。西口から2時12分発の「練馬車庫行き」の都バスに乗る。途中時間調整の停車を繰り返して、牛込柳町、江戸川橋を通過、椿山荘前で年配の女性が沢山乗り込み、日本女子大前で小学生の女の子で満員になって、2時50分頃鬼子母神前に着いて下車。ソーケンメディカルに行き、「交流磁気治療」の2回目の体験。終わって、代表の石渡さんと話していると、ビルの一階にこの21日に開業した「ソーケン整骨院」の安居院長が脊椎のことが得意だという話になって、診て貰うことになった。そして、1階に下りて診察と「骨盤矯正」などの治療を受けた。脚を曲げたり、身体を揺すったり、深呼吸をしたり、10分ぐらい磁気治療をした後、驚いたことに、仰向けに寝て膝を曲げて両膝を揃えて右に倒そうとすると、痛くて倒せなかったのが、最終的に痛みもなく倒せるようになったことだった。そして、右脚の痛みが軽くなった。治療を終わって帰ろうとすると、隣の治療用のベッドから声が掛かり、その声はここを紹介してくれた書肆山田の大泉さんだった。大泉さんは養生のために治療に来ていた。それから、書肆山田の鈴木一民さんに電話して、鬼子母神通りの「さむしんぐ」という家具を売っている喫茶店で会ってコーヒーを飲んで話をした。後から、大泉さんも来て話に加わった。6時頃別れて、鬼子母神前から新宿駅西口行きの都バスに乗って、ネオンが付き始めた雨の町並みを眺めながら新宿駅に戻った。そして、小田急デパートの地下でヒレカツと一口カツと漬け物を買って、タクシーで帰宅。麻理が帰っていて、豆腐とワカメのみそ汁と作って、「ためしてガッテン トマト」を見ながら一緒に夕食。食後、仮眠、10時過ぎまで眠ってしまう。そして「その時、歴史は動いた」の「武田信玄の最強軍団」を見てから、風呂に入ろうとしたが、熱っぽいので体温計で計ったら36度7分あったので、風呂に入るのは止めて、林檎1個と一口羊羹と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。井上クリニックから電話があって、明日ブロック注射をするから、「狭くなった血管を広げたり、狭い血管で血液が固まるのを防いで、血行を良くするための薬」のオパルモンは吞まないようにというので、サプリメントだけ吞む。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:18:59 - shirouyasu - No comments

2007-05-30

16回目の加圧リハビリ。

29日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、解離は、刺激に対して「攻撃する、逃げる、固まる」の反応から起こるが、これは大脳辺縁系の扁桃に流れる神経伝達物質によって決まるので、この扁桃に薬物を与えることでも起こるということで、麻薬の使用で自己意識を失うというのが、その例だという。庭に出てハイビスカスの花と月見草を撮る。仕事場に行き、昨夜、DiskWarriorのCDから起動したのでは巧く修復できなかったハードディスクを、今度はDiskWarriorをPowerBookG4にインストールして、Macintosh HDから起動して再度修復を試みる。その間にmixiなどを見る。修復は成功して、認知されなくなっていたハードディスクは無事戻った。ハイビスカスと月見草をBlosxomblogに入れる。買ってき

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

てあった野菜のかき揚げ天ぷら蕎麦を作って昼食。1時2分過ぎに家を出て、代々木上原1時15分発の千代田線にぎりぎり間に合うかと、杖を突きながら、出来るだけ急いで歩く。以前7分ぐらい歩いてきたところを、10分で歩いて、15分発の間に合った。これで、表参道1時26分の急行南栗橋行きに乗り、西新井に2時10分に着き、ホームのベンチで7分待って17分の各駅停車に乗って、竹ノ塚らタクシーで2時半に井上病院に着いた。今日は、入院している老婆のリハビリが終わるのを待って、2時45分、両足の大腿のマッサージから始めて、加圧して、ボールを膝で挟んで押す運動、腰に力を入れて持ち上げる運動、お腹に力を入れる運動、そしてペダル漕ぎ10分で終わる。タクシーを呼んで竹ノ塚駅へ行ったが、今日のタクシーの運転手はいつもと違う道を通って、ワンメーター分の遠回りをした。駅ビルのカフェ・フーゲツでコーヒーを飲む。客は四人の老人だけだった。4時前に竹ノ塚から西新井で急行に乗り換えて渋谷まで行く。錦糸町から隣に二人の外国人の女性が乗って来て、渋谷まで話しばなしだった。渋谷で下りて、東横地下で牛肉と蓮根と里芋と長ネギと牛蒡とトウモロコシと蕪を買って、ガード下からタクシーを拾って帰宅。着替えてから、仕事場でeMacのMacintosh HDと外付けのハードディスクをDiskWarriorでメンテナンスする。椅子に座っていた後、立ち上がる時、足の痛みがかなりよくなっているのを感じた。その後、7時過ぎて、買ってきた牛肉をバターで炒めて、昨夜のジャガイモと玉葱の炒め物に混ぜて炒め直して、蕪のみそ汁を作って夕食。食後仮眠、眠ってしまって10時過ぎに居間に降りる。風呂に火を点けて、夕刊を見る。それから風呂に入る。出たら、林檎1個と、一口羊羹と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:19:44 - shirouyasu - No comments

2007-05-29

「交流磁気治療器」の体験に行く。

28日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、解離性人格障害（多重人格）の解離が起こる場合として、親の虐待ばかりでなく、自己が脳のネットワークとしてしっかりと構築されないうちに、薬物などのトラウマで作られるということだ。庭に出てヒメジヨンの花を撮り、水を撒く。仕事場に行って、日録をノートして、mixiなどを見て、[背が高く伸びたヒメジヨンの花](#)をBlosxomblogに入れる。1時過ぎに野菜かき揚げ天ぷら蕎麦で昼食。2時頃家を出て、自転車で代々木上原の駅まで行き、小田急で新宿に出て、JR山手線で目白で下車。小田急で新宿に出て山手線に乗るのは久しぶりだし、杖を突いて新宿駅の構内を歩くのは初めてのことだった。目白で、駅前の道路を渡って「新宿駅西口行き」のバス停でバスに乗り、鬼子母神前で下りて「ソーケンメディカル」のビルに行く。そこで、痛みを取るための「交流磁気治療器」の体験。磁気発生装置のベッドに寝て、30分間身体に交流磁気を掛ける。終わって話を聞く。帰りは、また鬼子母神前から「新宿駅西口行き」のバスに乗る。目白通りから江戸川橋に出て、牛込柳町を通過して、靖国撮りに出て、新宿駅西口に着いた。約40分掛かった。さくらやに行ったらMacのディスクを修復するソフトを買おうと思ったら、さくらやではMacのソフトは扱ってないと言われて、ハルクの中のビッグカメラへ行き、「DiskWarrior」とプリンタのインキの黒を買った。小田急で代々木上原に戻る。自転車で文具店に行ってボールペンと鉛筆を買って帰宅。テレビを点けると松岡農水相の自殺が報じられていた。夕刊を見て、この前テレビでやっていた鶏肉とジャガイモと玉葱を炒めた料理を麻理が作って夕食。食後、麻理の「遊びと学びの会」の報告のWebファイルを作ってから、ベッドで仮眠。眠ってしまう。9時過ぎに起きて、「DiskWarrior」で認知されなくなったHDDの修復に掛かる。けっこう時間が掛かって、4時間近く経った今まだ終わっていない。修復に掛けて、風呂に入り、出たら、林檎1個と、一口羊羹と、煎餅を食べて温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行って、麻理のWebファイルを修正してから、「灰皿町blog日記」を書く。

02:00:47 - shirouyasu - No comments

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



2007-05-28

「ヤング・パースペクティヴ2007」のHプロとIプロを見る。

27日の朝は、トイレで『脳と意識の地形図』を読まなかった。[ナスタチウムの葉や花の茎が長く伸びている](#)のを撮って仕事場に行って、日録をノートしてから、Blosxomblogに入れる。1時過ぎて、ご飯に昨夜の残りのみそ汁を掛けて簡単な昼食にする。1時半前に家を出て坂の下でタクシーを拾ってイメージフォーラムへ行く。着くのが早すぎて、ちょっと待って、2時から「ヤング・パースペクティヴ2007」のHプロ「物語を曲げる」を見る。水野愛子ビデオ作品『COSMOS』（13分）は、コスモスの花が女に涙のわけを尋ね、女が病気の少女に同じ質問し、少女が両腕のないヴァイオリニストに聞き、音楽家が奥さんに聞き、奥さんはまさかりでヴァイオリンが好きなヴァイオリニストの腕を切ったとか、それぞれの人物が教会の前の階段に横に並んで立っているというように展開する。水野愛子ビデオ作品『MOTHER～さようならと言う名前のお話～』（14分）は「忘れる」という名の老人と、「忘れない」という名の娼婦と、「忘れた」の名の少年の3人の話が、額縁の中の赤ちゃんを抱いた母の絵との関係で展開するというもの。小林でびビデオ作品『夏苗ちゃん』（16分）は、電話で会った相手の女が傘を忘れたと申し、また自分は信長を切ったとか申し、どんどん間違った記憶の場所を辿り、河川敷に埋めた人形を掘り出すという話。河内洋16ミリ作品（ビデオ上映）『グリム』（21分）は、お城の塔の部屋に閉じこめられた見難い王女が飛び降りて死ぬという話が、実は家庭内暴力の引きこもりの男の作った話で、その男の振る舞いが描かれる。ヤジマチサト土ビデオ作品『献身』（10分）は、何かが浩宮の婚約者の女に変身するが、制約が多いと言うことを語るナレーションで、映像は庭に這う芋虫や細胞分裂の映像などが続き、最後には今度は猫に変身したとあって終わる話。終わってスターバックスに行ってコーヒーを飲もうと思ったら、人で一杯なので、またイメージフォーラムに戻って、事務所で麦茶を西山さんいご馳走になる。4時から、Iプログラム「秘儀/者」を見る。辻和人さんが来る。野々歩君がネムちゃんを連れてきて、由梨さんの作品だけ一緒に見る。由梨さんが画面に出ると、ネムちゃんは「ママ」と声を出していた。村岡由梨16ミリ作品（ビデオ上映）『yuRi=paRadox～眠りは覚醒である～』（30分）は、日常生活の分裂していた自分が妊娠して子供を産んでその分裂から救済されたという筋道を、「白」「黒」の色分けした床とか家具とか電話のコードとか、象徴的な血の色の水槽とか、そういう物の中で作者自身が主人公として演技しながら、比喩的に展開する作品。横田将士ビデオ作品『いくえみの残像』（5分）は、愛猫を撮った映像の一駒一駒をプリントした画像を厚紙に貼って、アニメーションのように動くまま重ねて行き、その重なりが立体的な猫の姿になるという作品。卞在奎ビデオ作品『ムービング・パノラマ』（4分）は、数枚のマルチイメージがそれぞれ時間を持って展開するという作品。石川聡子ビデオ作品『遅れたメフィスト、退屈な修羅』（32分）は、三人の着物の人物が現れる雲のたれ込めた砂浜に、波で打ち上げられたように着物を着て横たわる女と、派手な着物を着た女とが、ひとりの男に欲望をかき立てられるというように見受けられる関係で、比喩的に素っ裸になったりするシーンが挟まって展開する作品。三間旭浩ビデオ作品『1/2の蒸発』（8分）は、手が触れるとイメージが砕けてしまうという展開の作品。終わって、辻さんと近くの鰻屋で鰻重を食べながら、若い人たちの作品について話す。6時半過ぎに別れて、タクシーで帰宅。メールなど見て、ベッドに横になって、「ダーウィンが来た」に続いて、「風林火山」を見る。仕事場に行って、eMacを起動すると、外付けのHDDが一つ認知されなくなっている。気になって、PowerBook G4に繋いでみたがやはり認知されない。風呂に入ってから、由梨さんに今日見た彼女の作品『yuRi=paRadox～眠りは覚醒である～』の感想を電話で伝える。居間に行って、林檎1個と最中と煎餅を食べ、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。また仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:46:30 - shirouyasu - No comments

2007-05-27

「ヤング・パースペクティヴ2007」のGプロを見る。

26日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、離性人格障害（多重人格）は子供の時に親から虐待を受けてなる場合があることが書いてあった。恐怖に対応するために脳内に神経伝達物質が排出されるが、逃げることも闘うことも出来ないような状態に追い込まれたときには、別の神経伝達物質が排出して、その恐怖を感じさせなくなるということによって別の人格になるということだ。庭に出て昼咲き月見草を撮る。仕事場に行って日録ノート。mixiなど見てから、前田英樹著『言葉と在るものの声』の第三章「生の二重性と言語の二重性」を読む。ベルグソンの「デジャヴ」についての考え方から入って、更に「知覚」と「感覚」を分けて考えて、感覚に流れ込む潜在するものによって喜びを感じることができると書かれていた。飛高隆夫・野山嘉正編『展望 現代の詩歌 詩Ⅲ』（明治書院）が送られてきたので、自分のところだけ読む。きつね蕎麦を作って昼食。仮眠、テレビは見なかった。3時半廻ってコーヒーを淹れてのみ、米を研いでご飯を炊く。仕事場に行って、[二度目に咲きそろうた昼咲き月見草](#)をBlosxomblogに入れてから、『言葉と在るものの声』を読み続ける。5時過ぎにみそ汁に入れるジャガイモの皮を剥いていると、麻理が帰ってきて、ハムエッグを作る。大相撲中継を見る。白鵬が千代大海に買って優勝。6時過ぎに夕食にする。夕食後、6時半廻って家を出て、中学校前でタクシーを拾ってイメージフォーラムへ。事務所で山下さんとちょっと話して、7時半から「ヤング・パースペクティヴ2007」のGプロ「映像のプリコラージュ」を見る。多摩美の卒業生の岡澤さんと相沢君が来て、「この前に食事した前日が誕生日だったんですね」といって、遅ればせながらの誕生日祝いと、「仙太郎」の「青じそ入りぼた餅」と「もなか」をくれた。岡澤さん、相沢君、ありがとう。Gプロの中村惟信ビデオ作品『ULYSSES』（5分）は、都会と地方で撮られた四季の映像がピアノの音の演奏に合わせて短いカットで編集されている軽快な作品。ジョン・ヘジンビデオ作品『私、そして、自分』（12分）は、レンズ前にガラスやメッシュをつけて、そこに絵の具を垂らしたり、塗ったりして風景や自分の顔を撮ったもの。Mr. Momentビデオ作品『メディアロンソー』（4分）は、衝立にトースターや富士山やボールやブルトーザやその他のものが描かれているのを繰り返し経巡るというもの。斎藤嘉野ビデオ作品『INin』（4分）は、白板に描かれた絵と人が混じり合ったアニメーション。斎藤嘉野ビデオ作品『ニーニー』（3分）は、等身大の針金人間と女性がダンスをしながら街中を経巡る駒撮りの作品。能瀬大助ビデオ作品『He may solve the problem by using his logic.』（12分）は、パソコンの英会話ソフトで「Such a simple solution would not resolve a complicated problem.」という一文を延々と繰り返し発音して学習するというもの。大島慶太郎16ミリ作品（ビデオ上映）『Rhythmic Ray'07』（19分）は、古い映像や図柄などをフィルムに直接焼き付けたイメージだけの作品。小野恵ビデオ作品『パンタロンに届かない』（10分）は、集合住宅の破壊の映像を映写して平面に、手で触ったり、手の形に切り抜いた紙を貼ったり、円い色紙を貼ったりして、映像を相対化していくという作品。終わって、岡澤さんと相沢君と近くのスターバックスに行ってコーヒーを飲みながら話をした。10時過ぎに、タクシーで帰宅。風呂に入って、出してから、林檎1個と、先ほど貰ったぼた餅1個と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。菓とサブリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:24:33 - shirouyasu - No comments

2007-05-26

前田英樹著『言葉と在るものの声』の第二章まで読み終える。

25日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、正常な人も時には人が変わったようになることがあるが、それは余り活動しないネットワークが活動するせいで、人格は統一されている。解離性人格障害（多重人格）の人の場合は、メイン

の人格のスイッチが切れて、他の人格にスイッチが入れ替わってしまうのだと書いてあった。保険の書類に署名して麻理にポストに投函しに行つて貰う。[雨に打たれた風咲き月見草](#)を家の中から撮る。仕事場に行つて、[風咲き月見草](#)をBlosxomblogに入れる。mixiなど見てから、前田英樹著『言葉と在るものの声』を読む。小エビのかき揚げ天ぷらで天ぷら蕎麦を麻理が作つて昼食。仮眠、テレビを点けて若い中村雅俊と岸田今日子が出ているドラマの再放送を見ながらうとうとしているうちに眠ってしまう。4時近くに起きてコーヒーを淹れて飲む。仕事場に行つて『言葉と在るものの声』を読む。「詩人とは、宇宙の身体が、彼をして語らしめる機会を持つ人間のことでなくて何であろうか」と書かれている。これをインスピレーションによって書くということと受け止めて、インスピレーションをもたらず「宇宙の身体」って、何だろうか。この本は、言語は記号のあり方の一つであり、記号の本質は潜在するものを表すことという筋道を立てて行っている。「宇宙の身体」はその潜在するものになるが、潜在するものの存在を語るということがこの本の面白いところといえよう。5時半廻つて、居間に行つて大相撲中継を見る。朝青龍が魁皇に負けた。夕刊を読む。また仕事場に行つて、『言葉と在るものの声』で空海のこと書かれているので、Webのフリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』で空海の項目を読む。7時過ぎて麻理が餃子を焼いてみそ汁とで夕食。仮眠、テレビを点けて「迷宮美術館」の後半を見る。モナリザはレオナルド自身だということ。また眠る。9時半廻つて仕事場に行き、『言葉と在るものの声』の第三章を読み終わる。風呂に入る。出してから、林檎1個と小さいあんパン1個と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬、痛め止めは吞まなかった。サプリメント。仕事場に行つてmixiを見て、「灰皿町blog日記」を書く。

00:59:57 - shirouyasu - No comments

2007-05-25

15回目の加圧リハビリ。帰途、北千住で惣菜を買う。

24日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、現実感喪失、離人感、解離性人格障害(多重人格)などは、脳の中の連絡がうまく行かなくなるために起こるということが、脳の部分について比較的細かく書かれていた。庭に出てドクダミの花を撮ってから、椿の葉に虫がたかっているのを見つけて、殺虫剤を吹きかける。仕事場に行つて日録ノートする。12時廻つて、蕎麦を茹でるためのお湯を沸かしていると、買い物に行つた麻理が帰つてきて、あぶらげと長ネギときのこの煮込み蕎麦を作つて昼食。1時頃、自転車代々木上原駅まで行つて、地下鉄で表参道で急行に乗り、西新井から各駅停車で竹ノ塚下車、タクシーで井上病院へ。2時半から待つことなくマッサージを始めて、20分マッサージして貰い、加圧して膝と膝上の筋肉と腰の筋肉の運動を20分やる。今日はペダル無し。終わつて、ここに来るまで痛かつた左腰と太股と脚の痛みはほとんど無くなっていた。右側の腰と脚の痛みは残るが、かなりいい。タクシーを呼んで、竹ノ塚駅のカフェ・フーゲツでコーヒーを飲んで窓から広場を眺める。4時前の東武日比谷線の各駅で、今日は北千住まで行く。3階のホームから、エレベータとエスカレータで地下まで下りる。本屋があつたので、東京のバリアフリー地図が無いか聞いたが無かつた。千代田線の改札の方へ地下道を歩く。丸井の食品売り場「まるい食遊館」に改札を出て、イチジクを買い、「ねり伝」という店でねり物の惣菜を買い、千代田線のホームに下りて代々木上原行きに乗つて、終点代々木上原で下車。自転車で帰宅。大相撲中継で、最後の一番を見る。千代大海の猛烈な突っ張りに朝青龍は2敗となつた。夕刊を読み、7時頃、[咲き始めてドクダミの花](#)をBlosxomblogに入れる。それからみそ汁を作つて買つてきた惣菜で夕食。寝室のベッドに横になって「柳生十兵衛七番勝負」を見る。風呂に火を点けて、mixiやメールを見て、「バリアフリーマップ東京Metro」をアマゾンで買う。風呂に入る。出してから、林檎1個と薩摩芋1切れと一口羊羹と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行つて「灰皿町blog日記」を書く。

00:15:17 - shirouyasu - No comments

2007-05-24

前田英樹著『言葉と在るものの声』をちょっと読んだだけ。

23日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、多重人格のことが書いてあった。調べでは、ひとりの人に平均して十数人の人格が交換するらしい。多い人は三十人も的人格が入れ替わるという。庭に出て[二つ咲いたハイビスカスの花](#)を撮って、仕事場に行き、日録をノートする。ハイビスカスの花をBlosxomblogに入れる。かき揚げ天ぷら蕎麦で麻理と昼食。仮眠、「科捜研の女」をうとうとしながら見る。今日は脚の痛みひどく、起きあがるのに一苦労。3時頃コーヒーを淹れて飲む。居間の椅子で、前田英樹著『言葉と在るものの声』を読む。ソシユールの言語論とパースの記号論から空海の『声字実相義（しょうじじっそうぎ）』にオーバーラップさせて論じているのに驚く。5時廻って、米を研いで、大相撲中継を見る。炊飯器のスイッチを入れる。「ソーケンメディカル」から丁度送られてきた「交流磁気治療器」のカタログと、それを使って「脊柱管狭窄症」の治療をしている医師の文章と患者の体験記を読む。夕方になったのに、昼間外に出した猫のママニが帰ってこないのが心配になる。7時廻って、みそ汁と作ろうとしているところに麻理が帰ってきてハンバーグを焼いて夕食。「交流磁気治療器」の話をする。仮眠、眠ってしまう。9時半廻って起きると、脚の痛みが昼間より楽になっている。麻理も、猫が帰ってこないのを心配して家の周りを見に行く。10時過ぎて、風呂に入ろうとしているとき、ママニが帰ってくる。安心して、風呂に入る。出てから、林檎1個と、薩摩芋1切れと、甘納豆と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:17:10 - shirouyasu - No comments

2007-05-23

『玉野真一作品集』と『能瀬大助作品集』を再見。

22日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自分についての一切の記憶を失ってしまうことがあるという例が書いてあった。全くの別人になって、その後の人生を送ることになるというのだ。それを「遁走」というのだそうだ。[小さいバラの蕾](#)をBlosxomblogに入れる。『玉野真一作品集』をビデオテープからDVDにダビングする。「よっちゃんロシア」「あまりもの」「こうそく坊主」「純情スケコマシ」と再見する。数年前の玉野さんの表情と写っている日差しが懐かしい印象を与える。一途に身体を動かして生きている。曇りがない。アクションとしてナンセンスを貫いている。小エビのかき揚げ天ぷら蕎麦を作って昼食にする。仮眠、「科捜研の女」を見ながらうとうとする。3時過ぎにコーヒーを淹れて飲む。『能瀬大助作品集』をminiDVテープで作って、それをDVDにダビングする。「人のかたち」「その先へ」「日日常」を再見する。能瀬さんは映像で作品を作ることととても素直だ。言い方を変えると、「映像で作品を作る」という論理をそのまま行動として実現する。『人のかたち』は、やっぱり足下を見ることから始めなければ、と足下を見ると影があったので影を撮るところから始める、という作品。なかなか出来ることではない。イメージとしては、生活空間の中にある些細なことに目をつけてそれを輝かせる。彼は感じたことを考えて、映像に向かって行動する。ダビングが終わって、大相撲中継を見る。朝青龍が安美錦に負ける。居間に行って夕刊を見てから、昨日の炒め物に卵をとじて炒め直し、長ネギのみそ汁を作って夕食。食器を洗って、ベッドに横になりテレビを点けたが、眠ってしまった。9時過ぎに風呂に火を点けて、仕事場に行き、メールやmixiを見る。メールに返事。風呂に入り、出てから、林檎1個と、薩摩芋小2切れと一口羊羹と煎餅を食べて温めた牛乳を飲む。薬、今日は午後から脚が痛くなったが痛め止めは呑まなかった。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:17:50 - shirouyasu - No comments

2007-05-22**14回目の加圧リハビリ。**

21日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、現実感喪失であっても、離人感に陥っていても、統一感は喪われていないということが大切だと書かれていた。ナスタチウムの鉢の根本を覗いたら、[小さな芽が出ていて綺麗だった](#)ので撮った。仕事場に行って日録ノート。野々歩君がネムちゃんを連れてきて、麻理に預けて行く。ナスタチウムの芽をBlosxomblogに入れる。麻理が蕎麦を茹でている間、わたしがネムちゃんと遊ぶ。厚揚げとモヤシと野菜の煮込み蕎麦で昼食。1時過ぎに自転車で家を出て代々木上原駅に行く。駐輪場の予約しているところに見知らぬ自転車がはいているので退かしてわたしの自転車を置く。トラブルになるかも、とちょっと心配。地下鉄で表参道で半蔵門線に乗り換えようとしたら、人身事故があってダイヤが乱れているというので、千代田線で北千住まで行くかと思い、エレベータで下りたがまた上がって、ホームの駅員に急行が来るかと聞いて、来るというのでそのまま待って、次の次に来た急行に乗る。西新井で「パイレーツ・オブ・カリビアン」の大きな看板を目にして7分待って各駅停車に乗り、竹ノ塚下車。タクシーで井上病院へ。待つことなく2時50分からマッサージ、続いて加圧トレーニング。股を広げて腰の筋肉の運動と横に寝て太股を後ろに逸らす運動。その後、ペダル踏み10分。タクシーを呼んで、竹ノ塚駅に行き、カフェ・フーゲツでケーキセットでコーヒーを飲み、五月晴れの夕方近い空の下を行き来する人々を眺める。20分ぐらいそこにおいて、4時10分の竹ノ塚始発の各駅で西新井で急行に乗り換えた。優先席に行ったが座っている人が席を譲ってくれなかった。次の北千住で降りて、ホームと長い地下通路を歩いて千代田線のホームに行き、代々木上原行きに乗って、終点の代々木上原で降りる。自転車は無事だった。漢方薬局の有村堂で軟骨増強のためのサプリメントと視力増強のブルーベリーのサプリメントを買い帰宅。ベッドに横になって大相撲中継の最後の3つの取り組みを見る。6時過ぎに麻理からの電話で、お米を研ぎ、炊飯器のスイッチを入れる。居間に行って夕刊を読む。麻理が煮たカレーと焼いたカレーを買ってきて、長ネギのみそ汁とで夕食。食べながら、NHKの「クローズアップ現代」で芥子を栽培してタリバンに売る以外に生きることが出来ない貧しいパキスタンの農民の姿を見る。食後、ベッドに行き、「水戸黄門」を見ているうちに眠ってしまい、目覚めたら10時を廻っていた。風呂に火を点けて、食器を洗い終わったとき、ゴキブリが流しに出て、殺虫剤を吹きかけたので、洗った食器をもう一度洗い直す。仕事場に行き、メールとmixiを見る。11時廻って風呂に入る。出てから、林檎1個と薩摩芋1切れと一口羊羹と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。葉、血の流れをよくする葉が効いているように感じる。サプリメント。仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

01:43:07 - shirouyasu - No comments

2007-05-21**「ヤング・パースペクティヴ2007」のEプロとFプロを見る。**

20日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、現実感喪失と離人感のことが書いてあったが、この感じがひどくなって他人に向けられたとき自分を欺いてるように思い込むことになるという。自分は死んでいると言い張る患者に、血が出るということは生きている証拠だと説得して、彼の指に針を刺して血が出るのを見せて、「ほら、血が出るからあなたは生きています」といったら、「先生、死人から血が出るというのは大発見じゃないですか」と応えたという。庭に出て[サフィニアの花盛り](#)を撮って、仕事場に行き日録ノートして、Blosxomblogに入れる。12時半を廻って、南瓜の煮付けとお茶漬で昼食。1時15分を廻って家を出て、下の公園の前でタクシーを拾って、イメージフォーラムへ。2時から「ヤング・パースペクティヴ2007」のEプロ「テイスト・オブ・ケレン」を見る。詩人の辻和人さんが来て隣の椅子に座る。茂木一樹ビデオ作品『金属と愛情』（9分）は、胸に「空」に

字をつけたジャージを着てミットを持った女と、胸に「無」の字をつけたジャージを着てバットを持った男が、住宅街の路地を歩く写真と、「移動する」「あなたがそこにいて」何とかというような字幕が紙芝居風に展開するもの。鈴木道雄16ミリ作品『ある絵描きは女と...』(10分)は、トンネルの中で絵を描いている男と女の話で、男が描いた絵を女が気に入らないで投げ捨て、森の中を二人で歩いたり、崖の下の川に女が流れてきたりするというもの。田邊泰大ビデオ作品『四角い眼』(10分)は、テレビのモニターに目が映り、網タイツを履いた裸体の女が手の形をしたソファにかがみ込んでいたり、ベッドでもだえたりすると、どろんこの中に寝たシャツの男が泥だらけになってもだえて重なるというようなもの。岸建太郎ビデオ作品『朝に見た夢見た朝に』(22分)は、パーティに行くために風呂場の鏡で派手な化粧をしている女に、風呂場でラジオ体操の歌を歌っていた男がセックスを迫るが、時間が無いと正装する。台所ではハローインの南瓜を被った女が鳥の詰め物を作っていて、食卓に並べる。正装した二人が席に着き、食べると死んでしまい、南瓜を被っていた女も涙を流してやはり食べて死ぬというもの。3時頃終わって、辻さんと近くのコーヒーショップでコーヒーを飲みながら、若い人の作品がゲーム的に作られているという話をする。また、イメージフォーラムに戻って、Fプロ「若き芸術家の症状」を見る。姫嶋聖治ビデオ作品『スパン』(45分)は、背広を着たふとっちょのださい姿の中年男が親分の大事なピストルがはいたアルミのケースを持ち去ると、親分がその男の弟に取り返してくれば命を助けるといわれて、兄を追って行くうちに、着物来た売春婦やソドマゾショウの女や男根切りの男や坊主頭の双子の殺し屋など遭遇して、兄は最後に親分のところに戻って親分を撃ち殺して終わるという話。久保ガエタンビデオ作品『何時か見た夢』(9分)は、トンネルの中ではしている若い男が、いくら走っても抜けられなくなって、やっと抜けたと思ったら住宅街の十字路で、そこで自動車に轢かれるというもの。坂本宗市朗ビデオ作品『トイレの住人』(7分)は、立体アニメで、汚さを通り越してユーモアを出そうという作品。相沢克人16ミリ作品『光の帝国』(29分)は、フリーターの男が働いた報酬に生の烏賊を貰い、その烏賊のめぐるめぐるした軟体の妄想に悩まされるが、清純な恋人がやって来て心を洗われるという話。5時半過ぎに終わって、見に来ていた多摩美の卒業生の相沢克人君と岡澤のり子さんと青山通りを歩いていたら、後ろから偶然に同じ多摩美で同級生だった福井馨さんに声を掛けられた。福井さんは連れの人たちとわたしらを追い越して宮益坂を下って行った。それから、相沢君と岡澤さんと渋谷駅前の蓬莱亭に行って一緒に食事して卒業後の話を聞いた。8時過ぎて別れて、渋谷駅前でタクシーを拾って帰宅。ベッドに横になって、NHK大河ドラマ「風林火山」を見た。それからNスペ「シルクロード」も見たが途中で眠ってしまった。仕事場に行ってメールやmixiを見て、返事したりして、11時近く風呂に入る。出てから、林檎1個と、角きんつば1個と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲み、葉を呑む。そしてサプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:31:29 - shirouyasu - No comments

2007-05-20

イメージフォーラム付属研究所で研究生の作文を講評する。

19日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、精神的に正常な人でも、ストレスによって知覚の所有意識が失われて現実感を失うことがあるし、それが自己意識の向けられた場合、離人症になるという。最愛の人を喪ったときなど、自分が自分でないような意識になることが起こる。清水千明さんから[誕生祝いの花束](#)が宅急便で届いた。清水千明さん、ありがとう。誕生日が来て、わたしは72歳になった。その花束を撮って、仕事場に降りてBlosxomblogに入れる。それから、日録を書いたが、途中で12時ぎりぎりになり、書くのを止めて、南瓜の煮付けとご飯で早めの昼食。12時15分には家を出て、中学校のところでタクシーを拾ってイメージフォーラム付属研究所へ行く。1時から、研究生の作文の講評をする。一人一人の作文を取り上げて、そこからどういう映像作品が可能かを話す。途中休みを入れ

て、3時半までに、2、3人欠席者がいたが、30人余りの全員の作文に触れることが出来た。皆熱心に聞いてくれた。授業が終わって、切符を貰って、4時から今イメージフォーラム・シアターで上映されているニン・ハオ監督作品『モンゴリアン・ピンポン』を見た。内モンゴルの人たちの生活を少年たちに視点を置いて作られた作品で、川に流れてきたピンポンの球を拾った少年たちが、家族共々ピンポンというものを知らないの、「光る真珠」と思い込んだり、偶々聞いた放送で「国家の球」と言われているの聞いて、国に返しに行くに旅に出るが迷って連れ戻されて親の叱られるというようなことが筋書きになっている映画だった。モンゴルの大平原の風景と子供の純真な心に感じさせられるところがあった。6時に映画が終わって、近くの鰻屋で鰻重を食べる。それからスターバックに行ってコーヒーを飲む。6時半に授業が終わった研究所の研究生たちが帰る姿を眺める。7時過ぎにイメージフォーラムに戻り、7時半から「ヤング・パースペクティブ2007」のDプロを見る。佐藤文郎ビデオ作品『denotation』（5分）は、空き家の日本家屋の中の、壁、畳、板の間などに赤い粘液状のものが蛇のように伸びて庭まで行って溜まるというもの。清水瞳ビデオ作品『H-2226を、H-3017へ』（18分）は、倉庫の番号が振られた紙の箱を、3人の制服の女性が地震が来て箱が崩れるのを恐れながら整理していて、海に行った記憶の日時を思い出せないで食べる昼の弁当も毎日同じというもの。渡辺あいビデオ作品『WHRE WERE YOU?』（14分）は、駅からスーパーで買い物して家に帰って詰め物した鳥の丸焼き作る若い女と、湖畔で公衆電話して自宅の戻って書斎でちょっと居眠りしてから自動車を運転して出掛ける中年の男と、シュミーズ一枚で外を歩いて湖畔に向かう中年の女と、この3人の人物の場面が無関係にアクションを切っ掛けにカットバックされるという構成のもの。小原礼ビデオ作品『森のむこう』（11分）は、枯れ木の林の中で片足で立つ女の映像が始めから終わりまで続くというもの。石塚つばさビデオ作品『sign』（17分）は、白い液の中での女の手が髪の毛を弄ぶ映像とか、刈り取られたクローバー畑に小さな沢山の桐の箱が置かれていて、そこに基盤がはめ込まれているなどというようなイメージの作品。8時半過ぎに終わってタクシーで帰宅。ケーキはいらないというと、麻理がテーブルで「ハッピーバースデー」を歌ってくれる。夕刊を読んで、仕事場に行き、清水千明さんにお礼のメールを書き、またその他の誕生日祝のメールに返事を書き、風呂に入る。出てから、林檎1個と、一口羊羹と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。葉とサプリメント。仕事場に行って日録の続きを書き、「灰皿町blog日記」を書く。

01:42:53 - shirouyasu - No comments

2007-05-19

ナスタチウムの花を二株買って鉢に植える。

18日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自閉症の患者は、紅茶についてこのポットで淹れてこのカップの紅茶という概念の持ち方になっているために、その具体的な流れが崩れると紅茶というものが分からなくなるというようなことが書かれていた。自転車で小林医院へ行って「区の誕生日健康診断」を受ける。尿検査で尿が出ないので後で、家に帰ってから採尿して容器に入れて、夕方麻理が買い物に行ったついでに届けて貰う。その他、血液検査、胸のレントゲン、心電図の検査。それから、血圧を測って診断して貰い、いつもの血圧降下剤など六種類の薬の処方箋を貰い、慶応堂に行って処方して貰って買う。帰りに、[花屋でナスタチウムの花を二株](#)買って帰る。麻理がころとときのこなど煮込んだ蕎麦で昼食。仮眠。うとうとと「科捜研の女」を見て、その後、拳銃を乱射して警官を殺し、立てこもった男の住んでいる町の中継を見る。台所でコーヒーを淹れて飲む。庭で買ってきたナスタチウムの花を鉢に植え替える。こういうことができるようになったというのは、脚がかなりよくなったことの証明といえる。それから、ハスとグリーンピースと南瓜を久し振りに煮る。窓際に置いたナスタチウムを撮って、仕事場に行って、Blosxomblogに入れる。5時過ぎに居間に戻って、大相撲中継を見ながら夕刊を読む。7時頃、冷蔵庫に残っていた一口カツと、先ほど煮た南瓜とみそ汁で夕食。

ベッドで仮眠。半分眠りながら何か時代劇を見る。乱射男の身柄が確保される。仕事場に行って、明日のイメージフォーラム付属研究所の作文講評で話すことをメモする。風呂に入る。出たら、林檎1個と、薩摩芋1切れと、一口羊羹と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:57:18 - shirouyasu - No comments

2007-05-18

13回目の加圧リハビリと診断。

17日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自閉症のいろいろなタイプのことが書いてあった。自閉症の患者は同一性にこだわる傾向があって、手順にこだわるとか、同じ物を集めるとか、暗算が速いとか、ということがある一方で、人と全く話ができない場合もあるという。枯れた芍薬を撮って、生命保険のことで保険会社の人と電話で話をし、仕事場に行き日録ノートして、[芍薬の無惨に枯れた花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理ときつね蕎麦で昼食。1時頃、降ってきた雨の中、代々木上原駅まで杖を突いて歩いて、地下鉄で表参道乗り換え、東武曳舟につくときには日が差していた。西新井で各駅停車に乗って竹ノ塚下車。タクシーで井上病院へ。2時50分頃からマッサージと加圧リハビリ。膝上の筋肉と腰の筋肉の運動、俯せになって膝を曲げて足でボールを挟んで押さえる運動。それにペダル踏み10分。加圧リハビリの後、クリニックで整形外科早川医師の診断を受ける。右脚の痛みが無くならないということで、飲み薬を換えて様子を見て、二週間後に神経根ブロック注射をすることになる。支払いを済ませて、薬を隣のクオール薬局で処方して貰い、タクシーを呼んで竹ノ塚駅に戻り、「カフェ・フーゲツ」でコーヒーを飲んで一休み。竹ノ塚から各駅停車で西新井で急行に乗り換えて渋谷へ。北千住から優先席の隣に老婆と年配のその娘さんが座って渋谷まで一緒だった。東横デパート地下FoodShowでヒレカツと一口カツを買い、タクシーで帰宅。ご飯を炊き、豆腐とワカメのみそ汁と作って、7時半頃夕食。食後、ベッドに横になって、NHK時代劇「柳生十兵衛七番勝負」を見る。電話でイメージフォーラム付属研究所の門脇君と19日の「作文」の講評の仕方について打ち合わせする。10時過ぎに風呂に入る。出たら、林檎1個と、薩摩芋1切れと、一口羊羹と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬は、青山病院処方の薬を止めて、今日処方して貰った薬を呑む。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:04:26 - shirouyasu - No comments

2007-05-17

イメージフォーラム付属研究所の研究生の作文を読みおえる。

16日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自己概念を失う病気として自閉症のことが書いてあった。統合失調症は薬で治るが、自閉症は困難な病気だということだ。毛利珠江さんから誕生日のお祝いにと一口羊羹が一箱贈られてきた。毛利さんありがとう。庭に出てハイビスカスの花を撮って仕事場に行く。日録ノート。メールを書いたりその他のこと。[二つ咲いたハイビスカスの花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理がニラとあぶらげを煮込んだ汁蕎麦で昼食。仮眠しないで、イメージフォーラム付属研究所の研究生の作文を読む。あと少し残して眠くなってベッドに横になって大相撲中継を見る。居間に行って夕刊を見る。7時頃、まだ残っていたビーフシチューを温めて、トマトとパプリカを切って、一人で夕食。食後、直ぐに仕事場に行って作文をメモを取りながら全部読む。作文にはそれぞれどういう映像作品を作ろうと思っているかが書かれている。その思いがどういう風に作品に実現されるかというところでスリルを感じる。10時過ぎて風呂に入る。出たら、林檎1個と、薩摩芋1切れと、毛利さんが贈ってくれた一口羊羹と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。痛み止めは呑まなかった。

仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:07:19 - shirouyasu - No comments

2007-05-16

イメージフォーラム付属研究所の研究生の作文を読む。

15日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、統合失調症になると、カタトニー（緊張して動けない状態）になるか、所有感覚をなくして誰かに操られているか、またか、または全てのこと、太陽が沈むなんていうことも、自分の意志によるというように誇大妄想に陥るといことになる、と書いてあった。[庭に出てメキシカン・セージの花を撮って](#)仕事場に行く。日録ノートしてから、イメージフォーラム付属研究所の研究生の映像で表現することについての作文を読む。今度の土曜に講評をしなくてはならないので、一人一人の作文のポイントをエクセルの表にメモしながら読むんだ。きつね蕎麦を作って昼食。仮眠、「科捜研の女」を点けてうとうとする。3時にコーヒーを淹れて飲む。Blosxomblogにメキシカン・セージの花を入れる。続けて作文を読む。5時過ぎに夕刊を見ながら、大相撲の中継を見る。雷と雨。リハビリの筋肉痛が重なって、脚の痛みがひどく、ベッドで横になる。7時頃薩摩芋を蒸かし、昨日のビーフシチューを温めて夕食。ベッドに横になって、「クローズアップ現代」で休耕田に飼料用の米を作るようになった農民たちの姿を見る。仕事場に行って、Webで「統合失調症」や「カタトニー」を調べる。風呂に入る。林檎1個と、薩摩芋と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。葉、けっこう脚が痛かったが痛み止めは呑まなかった。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:05:54 - shirouyasu - No comments

2007-05-15

12回目の加圧リハビリ。

14日に朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自己概念は脳の化学物質の増減によって、スイッチがオンオフすると書いてあった。そして目覚めてもスイッチが入らないと自己意識が持てない統合失調症になるということである。テーブルの[野々歩君が昨日持ってきたカーネーション](#)を撮ってから、庭に水を撒く。仕事場に行ってカーネーションの花をBlosxomblogに入れる。野菜のかき揚げ天ぷら蕎麦を麻理に作ってもらって、早めの昼食。1時に自転車でお家を出て、駅に自転車を置いて、地下鉄で表参道乗り換えで西新井で各駅停車に乗る。毎回、ホームの一番前のベンチで6、7分、電車を待つが、その間、「東大4c5」と書かれた予備校の看板や海賊映画の看板を見てもなく見て過ごす。竹ノ塚で降りてタクシーで井上病院へ。2時半から40分間、マッサージと加圧リハビリ。今日は腹筋と腰の筋肉と膝上の筋肉の運動と、10分間のペダル漕ぎ。残り時間が表示されるのを見て、経過時間を計算する。リハビリが終わると痛みが無くなっている。3時半頃タクシーを呼んで竹ノ塚駅へ。「カフェ・フーゲツ」で桃のショートケーキとコーヒーで、駅前の風景を見る。各駅停車で西新井から急行に乗り表参道で千代田線に乗り換えて代々木上原で下車。駅前のコンビニでど飴を買い、自転車でパルケに行ってイチゴと豆乳を買って帰宅。麻理と豆乳を飲み、夕刊を見る。7時過ぎに麻理がビーフシチューを作って夕食。仮眠、「水戸黄門」を見ながらうとうとする。風呂に火を点けて、仕事場でmixiを見る。前田英樹著『言葉と在るものの声』をちょっと読む。パースの「法則記号」とソシユールの「ラング」を重ねて考えている。風呂に入って出してから、林檎1個、角きんつば1個、煎餅小2枚を食べて、温めた牛乳を飲む。葉、起きたとき脚が痛み、痛み止めを呑んだ。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:05:50 - shirouyasu - No comments

2007-05-14**「ヤング・パースペクティヴ2007」のBプロとCプロを見る**

13日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「明晰夢」の研究から、主体感覚や所有感覚のスイッチのオンオフの研究をすることが書かれていた。庭のサフィニアの花を撮って、粉っぽくなっている草の葉に防虫剤を吹きかける。仕事場に行って日録ノート。それから[三つ咲いたサフィニアの花](#)をBlosxomblogに入れる。mixiやメールを見て、神宮君からのメールに返事。佃煮と梅干しで早めの昼食を食べて、12時20分頃家を出て、下の公園のところでタクシーを拾ってイメージフォーラムへ。2時から「ヤング・パースペクティヴ2007」のBプロ「BRAIN WASH ANIMATION」を見る。古澤龍ビデオ作品『みずたまもよう』（5分）は水彩画で描かれた雨の街を行く若い女性が傘から垂れる雨の滴に田舎の幼い頃を思い出すというもの。林千景ビデオ作品『おじさんと穴とうさぎ』（6分）はドアの穴を覗くと、一軒の家に住むおじさんとうさぎの、おじさんがうさぎを彼の機械に入れると死んでしまい、箱に入れると箱の中で幸せそうにしているのをおじさんが覗いて、自分も機械の中に入って死んで、フクロウが箱の中に入れるというもの。河野宏樹ビデオ作品『盤上の王国』（7分）はチェス盤の上に一方は紙で作られた恐竜や鴉や昆虫など生きものたち、他方は金属で作られ武器を持ったロボットたち、これが駒を動かすとロボットが銃で動物を撃つというゲームが始まる。それが子供の夢で、その部屋にお爺さんが入ってきて、部屋の床がチェス盤になっているというもの。水江未来ビデオ作品『LOST UTOPIA』（5分）は若い男が一輪の花を摘むと女が倒れて死ぬという始まりの作品で、展開を忘れた。吉田和史ビデオ作品『one』（8分）はどのような作品だったか思い出せない。野上寿綿実ビデオ作品『夜中の三時』（6分）はテーブルのコーヒーカップのコーヒーが香りを立てている。その香りを鼻の穴を開いて楽しむ男、雨が降ってきて、部屋中に雨漏りして雨漏りの滴が垂れるというもの。寺田めぐみビデオ作品『子供の素』（15分）も、大野悟ビデオ作品『忘』（5分）も、内容を思い出せない。関口和博ビデオ作品『階段を降りる裸体』（5分）は西洋近代絵画の美術史で学ぶような抽象絵画のスタイルとモナリザの絵をアニメで動かしたもの。鈴木智晴ビデオ作品『BRAIN ASH』（8分）は動物的な曲線で描かれた裸体の男女が性交をしたり身体の中に入ったり排泄したりとアナーキーな動きをするもので、セックスや食欲が露わに語られるのが面白かった。Bプロを見終わって、近くの「STARBUCKS」に行きコーヒーを飲みながら今見てきたばかりの作品を反芻するが、既に思い出せないのがあった。杖を突いた入ったわたしに「STARBUCKS」の店員さんたちは親切だった。4時から、Cプロ「GAZE the PHASE」を見る。ソン・チャンスビデオ作品『百六十度』（10分）はコンクリートの道路脇から塀、塀の向こうの市場、その錆びた屋根、その向こうの高層ビル、空、雲、鳥へとパンアップして、またパンダウンすると道端にゴム長靴があるというだけの作品。坂井田俊ビデオ作品『壊したいおもちゃ』（30分）は、女子高生を自転車で追いかけて殴ったり、若い女を殺したりする通り魔の若い男の生活を描いた作品。椋本友加子ビデオ作品『Time Gradation 002』（24分）は、大学の校舎のような建物を横にパンした画像を縦に10から50くらいに分割して、その分割の一つ一つの画像が遅れるように編集したか、あるいはスリットで撮影したかした作品。5時過ぎに終わって、タクシーで帰宅。ネムちゃんが来ていて麻理と遊んでいた。わたしも猫をじゃらして一緒に遊ぶ。暫くして野々歩君が引き取りに来て連れて帰った。彼が持ってきたカーネーションがテーブルの上の花瓶に差してあった。7時過ぎに、麻理がたけのことモヤシと人参とニラと肉とを卵で炒め、餃子を焼いて、みそ汁を作り夕食。食後ベッドに横になって、NHK大河ドラマ「風林火山」を見て、更に「夕張市の再建」を扱ったNスペを見る。風呂に入り、出て、林檎1個と、乾燥芋と、角きんつぱと、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:32:40 - shirouyasu - No comments

2007-05-13

「ヤング・パースペクティヴ2007」のAプロを見る。

12日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「明晰夢」の研究のことが書いてあった。被験者と目玉の動きで連絡を取り合うというのが面白い。書肆山田の鈴木一民さんと電話で5時に渋谷のTopで会う約束をする。前田英樹著『言葉と在るものの声』を読む。1時頃、野菜のかき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。食後、[三つ咲いた芍薬の花](#)を撮ってから、仮眠。フジテレビ「女子アナの検定クイズ番組」を見てしまう。10分ぐらい寝る。コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行き芍薬の花をBlosxomblogに入れる。4時半前に家を出て、代々木上原駅まで杖を突いて歩く。地下鉄で渋谷に出て、5時前にTopに着く。鈴木一民さんと話す。活版で印刷している「るしおる」の発行が難しくなってきたという話だった。でも、詩の原稿は送ったということだった。東急プラザ8階の蓬莱亭に行き、一民さんとヒレカツ定食を食べる。7時前に渋谷駅東口の歩道橋のエレベーター前で一民さんと別れてイメージフォーラムまで歩く。東急プラザからイメージフォーラムまで歩いたのは数ヶ月ぶり、痛み止めを昼食後に吞んでいたとはいえ、最近では最も長い距離を歩くことができた。富山さんと池田さんと「IFF2007」の話をちょっとして、7時半から「ヤング・パースペクティヴ2007」のAプロ「ダイヤローグス」を見た。戸田ひかるビデオ作品『シリトリ』24分は、祖母の大きな田舎の家と祖母の映像と、自分の家族のアルバムの写真などの映像と、社会的事件の映像に作者と祖母が遣り取りする「シリトリ」の言葉が、日本語とローマ字と英語で打ち出されるといふもの。長友幸子8ミリ作品『いってらっしゃい』35分（ビデオ上映）は、祖母夫婦と養女だったという母と自分たちの血のつながりのない関係を、幼い頃に行った滝や箱根や横浜港などの映像に被せて語るといふもの。栗田くれないビデオ作品『孤島の歌』15分は、父の病に自分が臓器を提供できず、父が死んでしまったといふことを悔やむ気持ちを語った作品。9時頃終わって、タクシーで帰宅。途中、コンビニでタクシーを止めて牛乳を買う。帰宅して、疲れて、ベッドに横になってNHK土曜ドラマ「病院のチカラ」の後半を見る。風呂に火を点けて、夕刊を見てから、風呂に入る。出してから、林檎1個と、甘納豆半分と一口羊羹と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。

01:07:28 - shirouyasu - No comments

2007-05-12

前田英樹著『言葉と在るものの声』を100ページまで読む。

11日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「これは夢だ」と、寝る前に何度か言って寝ると「明晰夢」は見られると書いてあった。庭に出て[咲きそろった昼咲き月見草](#)を撮って、仕事場に行き日録をノートしてから、Blosxomblogに入れる。mixiなど見てから、前田英樹著『言葉と在るものの声』を読む。麻理がモヤシ煮込み蕎麦を作って昼食。仮眠、うとうとしながら「科捜研の女」の再放送を見る。足が重く起きるのがおっくうに感じる。3時過ぎにコーヒーを淹れて飲む。居間で昨日やったストレッチをちょっとやってみる。風に揺れる山吹とあじさいの葉をminiDVに撮る。仕事場に行き、『言葉と在るものの声』の続きを読む。6時過ぎに夕刊を見て、7時廻って麻理がトマトオムレツを作って夕食。「迷宮美術館」の後半を見て、そのまま10時頃までテレビニュースを何となく見てしまう。佃さんから電話が掛かってくる。仕事場に行き『言葉と在るものの声』の続きを読む。第一章を読み終えて第二章へ。記号学の創始者のパースの説が出て来たので、Webでパースを調べる。パースの「記号過程」と前田さんの「現働化」が重ねられるところまでで丁度100ページ読んだ。風呂に入る。出してから、林檎1個と、薩摩芋1切れと、甘納豆と、煎餅の割れたくずを食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。

00:19:14 - shirouyasu - No comments

2007-05-11

11回目の加圧リハビリ。

10日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「明晰夢」という、自分で自由にコントロールできる夢のことが書いてあった。普通の夢ではどうすることもできずに場面が展開してしまうが、その夢の中で「こんなことになるのは夢だからだ」という自覚が生まれ、自己意識が目覚めると、自分で夢を思うように展開できるようにする、という。[背が高く伸びたバラが花を咲かせた](#)ので、それを撮って、仕事場に行き、日録をノートしてから、Blosxomblogに入れる。mixiなど見ながら、長ネギのみそ汁を作り、納豆で早めの昼食を食べる。1時に家を出て、杖を突いて代々木上原駅まで歩き、年金の「生計維持確認届」をポストに投函し、地下鉄で表参道で急行に乗り西新井で鈍行に乗り換えて竹ノ塚で下車。タクシーで井上病院に2時半に着く。トレーナーさんが20分近く左右の太股をマッサージしてくれる。これで痛みがだいぶ取れる。それから、今日は、加圧して左右の太股の膝上の裏側の筋肉に力を入れる運動と、腹筋と腰に力を入れて、腰を持ち上げる運動をする。細かく筋肉を動かすなどやったことがないので戸惑うが、何とかできる。それを20分ぐらいやって腰全体が重く疲れる。3時半にタクシーを呼んで竹ノ塚駅ビルの「カフェ・フーゲツ」へ行ったら、ケーキセットでコーヒーを飲む。並木の葉が風で大きく揺れている。4時10分の竹ノ塚始発の鈍行で次の西新井で急行に乗り換えて渋谷まで行く。渋谷の東横デパートの地下で鰻弁当を買って、タクシーで帰宅。天気予報とは違って雨は降らなかった。お茶を飲んで薩摩芋を食べながら夕刊を読む。仕事場に行ったらmixiやメールを見る。7時頃、買ってきた鰻弁当を食べる。ベッドに横になって巨人対阪神のプロ野球中継をちょっと見てから、NHK時代劇「柳生十兵衛七番勝負」を見る。仕事場に行ったら短い詩を書く。風呂を沸かして入る。出てから、林檎1個と、薩摩芋1切れと、甘納豆半分と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬とサプリメント。仕事場に行ったら「灰皿町blog日記」を書く。今日は痛みがかなり楽になっている感じ。

00:18:49 - shirouyasu - No comments

2007-05-10

銀行へ行くのが一仕事だった。

9日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、夢の中で変身した友人や知人を顔が似てなくてもその人と分かるのは、その人についての感情の記憶だけが独立して甦って変身したものと結びつくからだと書いてあった。庭で[花盛りのマーガレットの花](#)を撮って、仕事場に行ったら日録をノートしてから、Blosxomblogに入れる。それから、痛み止めを吞んでないのでちょっと痛む脚で自転車の乗って駅の下銀行に行ったら、キャッシュディスペンサーで現金を下ろす。それだけのことなのに、大仕事した気分になる。帰り、安売り薬局で歯ブラシとチューブ、それに「ホッカイロ」を買った。背筋を温めて痛みを和らげようと思っている。帰宅して、ネギに余っていたキャベツを入れた煮込み蕎麦で昼食。仮眠、テレビ「科捜研の女」でうとうとする。3時過ぎにコーヒーを淹れて飲む。仕事場に行ったら前田英樹著『言葉と在るものの声』を読む。言語は、物の側でもなく、精神の側でもなく、それ自体から成る<第三の存在領域>があるのだと書いてあった。それは物と精神を結びつけるところだということ。その現働化が記憶が収縮して物に触れるところで「価値づける」とこというようだ。夕方、夕刊を読んでまた前田さんの本に戻る。米を研いで炊飯器をスイッチオン。7時廻って麻理がヒレカツを買って帰ってきて一緒に夕食。食後、仮眠。「ためしてガッテン」の水の事を見る。細胞に水を通す「水の穴＝アクアポリン」というものがあるという。風呂に火を点けて「その時歴史が動いた 源頼朝 魔法の大逆転 ～富士川の戦い～」を見る。風呂に入る。出て、林檎1個と、乾燥芋と、羊羹と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。

薬、今日も痛み止めは吞まなかった。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:50:03 - shirouyasu - No comments

2007-05-09

前田英樹著『言葉と在るものの声』を読み始める。

8日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、夢を見ているときの脳の各領域の神経細胞の働きが書いてあった。脳の働き方として、行動計画があって指示を出し、フィードバックによって確かめるという手順を取るが、感覚器官が眠っているのでフィードバックが取れないので、現実感をなくして自由に振る舞ってしまうということらしい。庭に出て[昼咲き月見草](#)を撮って、仕事場に行き、日録ノートしてから、Blosxomblogに入れる。昨今の頃の日記を読み返す。詩をちょっと書いてみる。丁度、その時に郵便で送られてきた前田英樹さんの『言葉と在るものの声』の封を切って、「あとがき」を読んだら、「語ることのできない真っ暗な洞窟がある」という言葉があって、面白そうなので読み始める。物は存在する。身体は物だ。それは物に反応して動く物だ。といったように明解に書かれている。ハムエッグを作って昼食。仮眠、二つの捜査ドラマを半分から半分へうとうとしながら見て、4時近く起きてコーヒーを入れて飲む。夕刊を見て、仕事場に行って『言葉と在るものの声』を読み継ぐ。記憶の収縮と弛緩ということが書いてあるところまで読み、先ず豆腐とわかめのみそ汁を作り、ジャガイモと人参を塩と砂糖と出しをいれて煮て、ハンバーグを焼いてその付け合わせにする。7時過ぎに一人で夕食。ベッドに横になって「学校へ行こうMAX」を見る。ずるずるとテレビのニュースを見て、風呂に火を点けたところで、麻理が帰ってくる。麻理と話して、風呂に入る。出てから、林檎1個と、乾燥芋と、きんつば1個と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬、痛み止めは吞まない。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:28:57 - shirouyasu - No comments

2007-05-08

加圧リハビリ10回目とレントゲンを撮っての診察。

7日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、夢を見ているときの脳の神経細胞のパターンは覚醒時と同じように働いているが、各領域の経路が遮断されていると書いてあった。[ジャスミンの花](#)を撮って、仕事場に行って、日録を書いたから、Blosxomblogに入れる。12時頃家を出て、自転車で代々木上原駅まで行って、地下鉄で表参道乗り換えで西新井で鈍行に乗り竹ノ塚下車。タクシーで井上病院へ着いたのが1時半。マッサージと加圧リハビリとで50分掛かる。今回は加圧して股を広げる運動、腰のちょっと下の筋肉を動かすなどの運動と10分のペダル漕ぎ。疲れた感じが出る。それから、レントゲンを撮って、金子医師の診察。壊死の状態は悪くはないので、加圧リハビリを続けましょう、ということ。4時頃会計を済ませて、タクシーを呼んで竹ノ塚駅へ。駅前通りの並木の緑が気持ちいい。駅ビルの「カフェ・フーゲツ」で小エビとトマトソースのオムライスを食べ、コーヒーを飲む。4時54分の電車で竹ノ塚を出て、西新井で急行に乗り換え、押上から鈍行になって、表参道で千代田線に乗り換えて代々木上原へ。自転車で有村堂で血行をよくするサプリメントを買って帰宅。夕刊を見た後、タラコとみそ汁で麻理と夕食。ベッドに横になって、うとうとしながら「水戸黄門」を見る。9時過ぎに山内靖子さんが送ってくれた新茶を飲み、メールで礼状を書き、先日会えなかった佃さんにもメールする。mixiを見る。風呂に入ろうとしたら、帰ってきた草多が入ってしまったので、「灰皿町blog日記」の下書きを書く。風呂に入り、出て、林檎1個と、薩摩芋1切れと、酒マン1個と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬、今日は出掛けたので、朝、痛み止めを吞んだ。サプリメント。仕事場に

行って「灰皿町blog日記」を書き終える。

01:24:40 - shirouyasu - No comments

2007-05-07

「イメージフォーラムフェスティバル2007」の感想を書く。

6日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、想像する場合は、感覚の情報が少ない、つまりその場に立ち会っている感じがしないが、夢ではもろにその場にいるような感じになるが、自己意識がないという。仕事場に行って日録ノートする。「イメージフォーラムフェスティバル2007」の日本の作品を昨日の分類に従って整理する。麻理が昨夜のポトフの余りで雑炊を作って昼食。仮眠。眠る。3時頃起きてコーヒーを入れて飲む。テーブルに座って、庭を見ると、雨でバラが散っている。仕事場に行って、「イメージフォーラムフェスティバル2007」の印象に残った作品の感想を書く。

「わたしにとって最も新鮮で印象深かった作品は、かわなかさんの『この一年—part1』『この一年—part2』でした。かわなかさんは枠を考えないで「好きに作った」と言っていました。ずっと映像の形態にこだわる実験映画を標榜してきた人がそう言って、映像の内容に重きを置いた作品を作ったということに、新鮮さを感じ、忘れ去られてしまう事象を、個として生きる「自分」との関係に置いて記憶に刻む作業をして見せるという行為が映像からじわっと伝わってきました。

福井琢也さんの『グージョネットと風車小屋の魔女』も、ナレーションと映像の二つの軸を同時進行させて、ナレーションの言葉を譬喩として機能させるというやり方が新鮮でした。脚本をBlogに公開して映像作品の制作をするというのも新しいやり方のように思えます。

また、映像作品とパフォーマンスをコンタクトさせた奥山順市さんの『8ミリ・ミシン』は、映像を音に還元させてしまう作品行為として考えさせられるところがあるように感じました。会場に響く乾いたミシンの音は脳髄に刻まれました。しかし、今回の場合は映像にもパフォーマンスにも作者が登場してしてしまうので、その人物の印象が強く映像や音のナンセンスが持つ爆発的な衝撃度が弱められているように思いました。もともと奥山さんの作品は、メディアの物質的側面を語ることによって映像の意味性を否定するところに本質があると考えのですが、作者の存在がメディアの内外を通底させて意味として機能してしまうと、作品が作者の肩に乗ってしまい、広がりがなくなってしまうように思いました。

万城目純さんの作品とキリアン・デラズさんの作品は、映像と演奏やダンスが一体になる作品で、映像の見る者の心を引きつける力に加えて、パフォーマーの身体の動きが感情を盛り上げる働きをして、とても楽しかったです。映像の照度ということもあるのですが、パフォーマーにはもう少し照明が当たっていた方がいいように思いました。

『セブン・イージー・ピース』では、世界的なアーティストになるのは大変な努力がいるという感想を抱きました。「ドローイング・アニメーション世界旅行」では、スーザン・ピットの『エル・ドクトール』に人生の哀歓を感じさせられました。」

この感想をフェスティバル・ディレクターの池田裕之さんと澤隆志さんにメールで送り、今夜のパーティに行けない旨を告げる。それから、[昨日撮った芍薬の花](#)をBlosxomblogに入れる。「映像演劇」2号に掲載された「愛を生ききる台詞 —清水邦夫の戯曲について」のファイルを見直して、[「鈴木志郎康のb2evolution blog」](#)にアップする。7時頃、先日麻理がお母さんのところから貰ってきた煮魚などで夕食。仮眠。8時からベッドに横になってNHK大河ドラマ「風林火山」を見る。風呂に火を点けて、「b2evolution blog」の記事を整える。風呂に入る。出たら、スポーツニュースを見ながら、林檎1個と、薩摩芋1切れと、酒マン1個と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。栃東が引退という。寂しい。薬、今日も痛め止めを呑まなかった。腰の辺りが痛い。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:23:06 - shirouyasu - No comments

2007-05-06

野々歩、由梨、ねむちゃんが来る。

5日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』は、第9章に入った。タイトルは「ばらばらな意識」だったかな。夢と想像することとの違いが書いてあった。野々歩たちが来るというので、麻理と居間を片づけて掃除機を掛ける。暑くて汗をかく。下着を取り替えたところに、野々歩と由梨とねむちゃんが、五月はわたしの誕生日なので、そのお祝いにクチナシの鉢を持ってきてくれる。それと、柏餅と、野々歩が浜松のたこ揚げを撮り行った土産の「鰻パイ」をくれた。ねむちゃんは女の子らしくなってきた。麻理が作った厚揚げと卵入りの蕎麦を昼食にみんなで一緒に食べる。柏餅も食べる。しばらくして、わたしは眠くなって寝室で仮眠、眠ってしまう。わたしが寝ている間に麻理と彼らは下北沢に自転車で行って、ねむちゃんの洋服や靴などを麻理が買ったと、3時過ぎに帰ってきた麻理が言っていた。わたしは、3時過ぎに起きてコーヒーを淹れて飲み、[野々歩たちから貰ったクチナシの鉢](#)を撮って、仕事場に行ってBlosxomblogに入れる。それから、昨日までに「イメージフォーラムフェスティバル2007」で見た日本の作家の作品を分類してメモした。日本の作家の作品は招待と一般公募受賞入選作を含めて全部で9プログラム35作品だった。そのうち、わたしの分類で「イメージを主にした作品」は13作品で、視覚や記憶に分け入る作品が4作品、方法的に映像をクールに扱っている作品が3作品、主観的に感情がにじみ出てくる作品が3作品、音楽・ダンスなど他のメディアとの関連を追求する作品が3作品だった。「アニメーション作品」は9作品で、妄想的なストーリーの作品が4作品、描き方に動く感じを出した作品が2作品、ユーモアを出そうとした作品が3作品だった。「作者個人を主体にした作品、いわゆる個人映像作品」は8作品で、考え方を軸にした作品が3作品、生活のあり方を語る作品が5作品だった。それから「物語を構築する作品」は5作品で、虚構性を追求する作品が3作品、主観的な世界を構築する作品が2作品だった。7時過ぎに麻理が鴨と野菜のポトフを作って夕食。その後、ベッドに横になってプロ野球巨人対ヤクルトをうとうとしながら見て、続けてNHK土曜ドラマ「病院のチカラ」を見た。風呂を沸かして入る。出てから、林檎1個と、薩摩芋1切れと、柏餅1個と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬、今日は痛め止めを呑まなかった。サプリメント。仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。

01:41:21 - shirouyasu - No comments

2007-05-05

「イメージフォーラムフェスティバル2007」の7日目に行く。

4日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「ミーム・マシン」ということが紹介されていた。何でも複製子というのがあって、それはコピーする働きのように、それをミームというように、自己というのも、言語にしる習慣にしるコピーだから、自己というのはそのミームの複合体として考えられるという説があると紹介されていた。[三つ目のバラの花](#)を撮って、仕事場に行き、日録ノートしてから、Blosxomblogに入れる。薦田さんから「梅源」の角きんつばと甘納豆が宅配で贈られてきた。薦田さん、ありがとう。麻理と蕎麦で昼食。仮眠、テレビを点けて、楽天対ロッテの中継をうとうとしながら見る。選手の名前は全く知らない。楽天の選手が満塁ホームランを打った。3時過ぎに起きて、木村恵子さんが賞して欲しいと言っていたわたしの作品のDVDを封筒に入れる。4時過ぎに家を出て、木村さん宛の封筒をポストに投函して、タクシーを拾ってパークタワーへ。奥山さんの奥さんとちょっと言葉を交わす。5時からのDプロ「日本4 日本招待部門+一般公募部門」を見る。清家美佳ビデオ作品『お向かいさん』は、写真を使った描きアニメで、テーブルを挟んで向かい合った男女の真ん中に鉢植えがあり、女が口から出した緑の葉をその鉢植えの木の幹に差すと緑の枝葉が伸び、男が口から出した赤い

葉を差すと赤い枝葉が伸びるといふ展開。男の後ろの窓を女が覗くと灼熱のアパート群、女の後ろの窓を男が覗くと、緑の樹木が中庭に繁茂したアパート群、緑の蝶と赤い蝶が二人の気持ちを取り持っているように見える、という作品。近藤寛史ビデオ作品『mirror for eyes』（一般公募入選）は、死んだ友達と海岸などで一緒に撮った写真をいろいろとカラーエフェクト掛けたような処理をした作品。宇田敦子ビデオ作品『おともだち』は、アニメで、林檎の木から落ちた林檎が虫に喰われて腐りかけて、まだ木になっている林檎に話しかけるという作品。土屋由貴ビデオ作品『辻』（一般公募入選）は、水平線の手前の浜に静かに打ち寄せる波を人工的な作りもののように見せる作品。黒坂圭太ビデオ作品『Agitated Screams of Maggots』は、手で描いた絵のアニメで、食べ物に潜む生命力を怪物と少女が喰いつ喰われつの変身から変身へのイリュージョンで描いた作品。小口容子ビデオ作品『リアルアクセスディスコミュニケーション』は、中年女と若い男のドメスティック・バイオレンスを、女の側からそれを求める心理で描いたドラマ仕立ての作品。雨とか、夕日とか、群雲の月が綺麗に捉えられていた。見終わって、隣で一緒に見た三浦淳子さんと地下のそば屋で親子丼を食べながら話をする。三浦さんは帰って、わたしはホールの戻り、Jプロ「特集1 キリアン・デラーズ アニメーション・アクト」を見る。スイスのアニメーション作家の作品で、身体や物を使ったアニメーションと油絵の具や粘土を使ったアニメーション。二つの作品はミュージシャンの今井和雄さんとの共演で生演奏つきだった。終わって、黒坂さんと久しぶりに会って挨拶する。また、ほしのあきらさん、石田尚志さんなどともちょっと言葉を交わした。パークタワー前からタクシーを拾って帰宅。家に近くなったとき、運転手さんがこの前もここに来ましたと、同じ運転手さんだった。ベッドに横になってちょっと休憩して、お風呂を沸かして入る。出してから、林檎1個と、薩摩芋1切れと、角きんつば1個と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。葉、今夜は痛め止めは吞まない。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:37:46 - shirouyasu - No comments

2007-05-04

庭のクレマチスの鉢を花がよく見えるようにちょっと移動する。

3日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自己感覚の成立の基本的条件として、第一に空間の境界、第二に主体感覚だと書いてあった。仕事場に行って、日録ノートする。それから、メールして、mixiを見る。1時過ぎに買ってあった野菜かき揚げ天ぷらで天ぷら蕎麦を作って昼食。仮眠。テレビは何か点けていたが眠ってしまって忘れた。3時過ぎに起きて、コーヒーを淹れて飲む。それから、花が終わったシクラメンの鉢を庭に出し、クレマチスの花が居間のテーブルに座ったままでよく見えるように、ちょっと移動する。静かな午後の日差し。仕事場に行って、mixiの徘徊少女さんのコメントに「極私的」ということについてコメントをつける。Blosxomblogに[送き終わったシクラメンの鉢](#)を入れる。それから、昨年クラッシュしてOSなど全部入れ替えたPowerBookG4を起動して、Internetに接続してアップグレードする。麻理がお母さんのところから帰ってきて、買って来た刺身と、麻理の兄が作ったという大根のみそ汁で夕食。仮眠、京都の警察もののドラマをうとうとしながら見る。9時廻って、風呂に火を点けて、テーブルで麻理とチョコボールを食べる。それから風呂に入って、出してから、林檎1個と、薩摩芋1切れと、酒マン1個と、煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。葉、今日は痛め止めは吞まなかった。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:08:05 - shirouyasu - No comments

2007-05-03

「イメージフォーラムフェスティバル2007」の5日目に行く。

2日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、自己意識は言葉で構築さ

れていき、自分だけでなく、社会的にも責任ある存在となる、と書いてあった。庭で[レースラベンダーの花](#)を撮って、仕事場に行って、日録ノートして、Blosxomblogに入れる。2時過ぎにイカめしと麻理が作ったニラと卵の雑炊とで昼食。脚が痛むので痛み止めを呑む。仮眠。眠る。明治書院から来ていた『展望 現代の詩歌』の作品掲載の承諾書にサインする。4時20分頃家を出て、坂のところでタクシーを拾ってパークタワーへ行く。入り口のポストに承諾書の封筒を投函する。3階のホールへ行って、「イメージフォーラムフェスティバル2007」のGプロ「日本7 招待部門」のかわなかのぶひろビデオ作品『この一年 Part1』(90分)を見る。この作品は、「Part2」と合わせて、かわなかさんが昨年東京造形大を定年退職して、この一年に制作し、「映像アートサロン・煌翔」で発表してきた作品を再編集してまとめたもの。「part1」は、退職して研究室を引越すところから始まって、新宿ゴールデン街の幾つかのバーのママの紹介と、「まこ」というバーによく来ていたドキュメンタリー監督の坂野皓の面影を偶が会に参加した人々を撮った映像で語り、またB級芸術家を自称するパフォーマンスアーティストの牧朗を写真やかわなかさんの旧作からの引用で語るといふもの。終わって、地下に降り、「オフィスデポ」でノートとDVD用の封筒を買い、トンカツ屋「さぼてん」でヒレカツ定食を食べる。7時半ぎりぎりに戻って、Hプロ「日本8 招待部門」で、かわなかのぶひろビデオ作品『この一年 Part2』を見る。坪田君と挨拶する。この作品は前半はゴールデン街のバー「唯尼庵」のママきよの紹介、後半は「熊回帰線」と題して、中上健次が健在だった頃に、彼が企画してゴールデン街のママや常連の人たちとバスを連らねて、熊野に行き、野外で開いた中上健次、都はるみ、中村一好の公開シンポジウムの記録と、石橋幸の自分が発掘したロシアの囚人や老娼婦の歌の独唱の記録となっていた。中上健次が畠山みどりなどの歌を歌い、当時引退していたという都はるみも歌う。終わって、かわなかさんは舞台挨拶で、コミュニケーションが抽象化する現在、身体がある空間でのコミュニケーションの必要を感じて、具体的な付き合いの場であるバーなどを撮った映像によって人間が浮かび上がってくるように、その場を生なままで見せるような作品としてこれらを作ったと語っていた。9時過ぎに終わって、タクシーで帰宅。風呂を沸かす。薩摩芋を蒸かす。風呂から出て、林檎1個と、薩摩芋小さな2切れと、酒まん1個と煎餅を食べて、温めた牛乳を飲む。薬、夜は痛み止めを呑まない。サプリメント。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:48:02 - shirouyasu - No comments

2007-05-02

加圧リハビリ9回目、そして「イメージフォーラムフェスティバル2007」。

5月1日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、統合された自己意識は、神経細胞の発火パターンが海馬に記憶されて、繰り返し発火されて習慣化するところによるといふ。それは他人から言われたことから影響を受けるという。[三つ咲いたクレマチスの花](#)を撮って仕事場に行き、日録ノートして、Blosxomblogに入れる。12時頃雨の中、右手でこうもり傘を差して、左手で杖を突いて駅まで歩いていく。痛み止めを呑んだせいか、それほど痛くない。駅について、ホームから電車に乗った瞬間、血圧降下剤を呑むのを忘れて来たことに気がつき、電車から下りて家の麻理に電話して駅まで持って来て貰う。改札口の脇で薬を呑んで電車に乗り発車したのが12時40分頃だった。表参道で乗り換えて、西新井で鈍行に乗り竹ノ塚下車。タクシーで井上病院へ。1時50分頃からトレーナーのマッサージから始めて、180mHgの加圧トレーニングをペダル踏みで終えたのが2時半だった。タクシーを呼んで竹ノ塚駅に戻り、麻理に電話する。それから、西新井で急行に乗り換えて、代々木上原に着いたのが4時頃だった。そこからタクシーに乗ってパークタワーへ行く。入り口付近で、帰り掛けのほしのあきらさんに会って挨拶する。地下の食堂で遅い昼飯のハンバーグを食す。5時前に「イメージフォーラムフェスティバル2007」の会場の3階のホールに行って、席に座っていると多摩美卒業生の木村恵子さんが来て隣に座る。この4月から「東京芸術大学 大学院 映像研

究科映画専攻編集コース」に行っているという。5次選考の末に受かったということだ。並んで、Cプロ「日本3 日本招待部門」を見る。ほしのあきら+居島知美+横溝千夏8ミリ作品『手が消える』(30分)は、8ミリカメラを持って、生活空間の中にあるものを真剣なまなざしで立ち向かって撮った映像の集積で、生き生きとしたアナーキーな作品。和田淳ビデオ作品『そういう眼鏡』(8分)は、淡く彩色した手書きアニメで、次々に地面から生え出た男が猿の背中で一転して進み輪になった踊るというナンセンスな雰囲気作品。ビジュアル・ブレインズ(風間正+大津はつね)ビデオ作品『De'-Sign(脱記号)18』(15分)は、母校の建物と昔住んでいたアパートが取り壊されることになって、心の拠り所が失われていくように感じて、それぞれの建物を懐かしんで、ドアの取っ手などを手でなでながら撮影して、気持ちを語った作品。林勇気作品『ささやかでつつましく』(5分)は、空中の並んでいる白い箱の上を、白い人間が箱を運んでいくというようなたわいない作品。中島崇ビデオ作品『レベル2』(10分)は手にポイントを置いた非人称的な映像の集積、窓を叩く手が非常に印象に残った。内村茂太8ミリ作品『多摩川暮らしの手帖』は、名古屋から東京の多摩川住宅引っ越してきた猫好きの若い夫婦の、長崎と函館への旅行を挟んだ日常生活が語られる作品。終わって舞台挨拶を聞いて、会場の入り口付近で木村恵子さんと話をした。それから、Eプロ「日本5 日本招待部門+一般公募部門」を、また木村さんと並んで座って見た。始まる直前に、坪田義史君と青柳龍太君が来た。黒川芳朱ビデオ作品『映画 来るべきもの』(15分)は8ミリで撮った映像をビデオで編集した、水族館や桜の花などの様々なイメージの集積といった作品。伊藤隆介16ミリ作品『版#26-29』(8分)はメジャーの35ミリフィルムやその他のフィルムを貼り付けて現像した作品。万城目純8ミリ作品『タガ・クロス・イズ・アライブ』は北マリアナ諸島ロタ島で8ミリで撮影した映像をビデオで上映して、スクリーン前でライブ演奏とダンスを行うパフォーマンスだった。相原信洋16ミリ作品『LOTUS』(7分)は、目眩く線描とカラーのハスの花だった。太田曜16ミリ作品『INCLINED HORIZON』(8分)は、「ダンス・白州・2006」の斜め平面を持つ彫刻作品を中心に、カメラの水平軸を変えて風景を齧撮りした作品。牧野貴8ミリ→ビデオ作品『No is E』(一般公募部門寺山修司賞23分)は、小さな光の点滅にジム・オルーク作曲の音楽をつけた作品。10時過ぎに終わって、坪田君、青柳君、木村恵子さんとタクシーで渋谷の「セピア」に行き、ビールを飲み、「黒豚角煮丼」を食べて、いろいろと話し、坪田監督の次回作が決まった話も出た。11時を廻ってタクシーで帰宅。風呂を沸かして入り、出してから林檎1個と、桜餅と、煎餅を食べ、温めた牛乳を飲む。葉、今朝は痛め止めを呑んで出掛けた。サプリメント。仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。もう4時近い。

03:51:52 - shirouyasu - No comments

2007-05-01

「イメージフォーラムフェスティバル2007」の3日目に行く。

30日の朝は『脳と意識の地形図』を読んだが、書いてあったことを忘れてしまった。庭の二つ咲いたクレマチスを撮る。よく見たらもう後一つ咲いていた。日録ノートして、11時過ぎに家を出て中学校前でタクシーを拾って西新宿のパークタワーホールへ行く。開場前で、入り口近くの喫茶の縁台に座って、小池照男さんと作品について質問して話をする。開場して、Fプロ「日本6 招待部門+一般公募部門」を見る。大力拓哉+三浦崇志ビデオ作品『タネ』(50分 一般公募入選)は、土肌が出ている山の稜線を、三人の男が棺桶状の細長い箱を担ぎ、一人の男が後ろについて行く、という長回しシーンから始まり、次に大ロングショットになり、一人が怒って帰っていき、残った三人は森の茂みに入って歩き続けて、大きな木の実に出会ったり、巨木になった夢を見たという話しをしたりして、森の中で夜になって、火が燃えたりする異変が起こり、二人は行方不明になる。明るくなって一人が引き返すと大きな実が落ちていて拾って食べる。超越的なものへの憧れだろうか。福井琢也ビデオ作品『グージョネットと風車小屋の魔女』(24分 一般公募入選)は、恋人を失って引きこもっている女のところに、女の友達に来て魚のゲー

ジョネットを作って慰めるという映像展開に、半身不随の旅人が風車小屋に住む魔女を訪ねて、魔女は死に、旅人は半身が回復するという話の朗読を被せて、引きこもりの女の心理と話をシンクロさせたもの。萩原朔美ビデオ作品『ポストの話』(15分)は、家は内と外の曖昧な領域だった縁側を失い、塀に囲まれ、外との行き来はポストだけになった、という話から窓の映画を作ったという話になり、風はポストを自由に通り抜けて行く、と終わる。平林勇ビデオ作品『十七個の空間とウジ虫で構成された作品』(14分)は、死んでウジ虫に生まれ変わったという人物が、畳や木片の上などにウジ虫を這わせて、意識、認識、思考というテーマで語るというもの。福井琢也さんだけが舞台挨拶。終わった後、木村和代さんと会って、一緒に地下のうどん屋に行つてつけうどんをご馳走して貰う。木村さんとテーブルを挟んで座って話をするのは、昨年12月の横浜以来で久しぶり。また、会場に戻って、奥山順市さん夫妻と挨拶して言葉を交わす。脚の痛いのを気遣ってくれる。Aプロ「日本1 招待部門+一般公募部門」を見る。中村智達ビデオ作品『ぼくのまち』(17分 一般公募奨励賞)は花からこぼれ落ちた男の顔が、女の子を食べた魚の身体に発疹して増殖して、家になるといったようにやや妄想的に展開する手描きアニメーションの作品。奥山順市ビデオ作品『8ミリ・ミシン』(11分)は、映画カメラの発祥がミシンと重なるということから、フィルムの好きか作者はフィルムを叩いたり捻ったりしているうちに、また映写機を落としたり引っ張り上げあたりして、リズムに乗って、遂にフィルムを重ねてミシンで縫ってしまおうと、実際に縫ってしまう。プログラムが終わったあと、映写機とフィルムとミシンを組み合わせさせて動かして、その騒音を増幅して聞かせるパフォーマンスやって見せた。手塚真8ミリフィルム作品『2006』(26分)は、愛しあっていた二人の女が、三角関係から争うようになり、ビル街で、会議室で、森の中で、それぞれダンスを踊りまくるというもの。辻直之16ミリフィルム作品『影の子供』(18分)は、女の涙からいろいろと生まれてくるというコンセプトが感じられる木炭画によるアニメーション。出てくる少年少女、女、男が全部全裸で、男が少女を食べてしまおうとか、少年と少女が自動車で逃げて町の建物が顔になり、ホームで待っているとやってきた列車がショートケーキで、それは魔女の毘だとか、メルヘン世界に飛躍するかと思うと戦車が出て来たりする。田名網敬一+相原信洋16ミリフィルム作品『一寸法師』(8分)は、田名網さんの虹色の色彩と相原さんのスピードのある線描の変化が合体した奇妙な姿の一寸法師の話。見終わって、鈴木余位君と辻和人君を互いに紹介する。地下の喫茶で3人で話しているところに、萩原朔美さんと木村和代さんが来て一緒に話す。それから、萩原さんと木村さんと同じ地下のイタリアンレストランで食事して、萩原さんのご馳走ということになった。萩原さんと話をするのも久しぶりだった。7時半過ぎて、パークタワーの前で別れて、タクシーを拾って帰宅。ちょっとベッドで横になる。仕事場に行つて、二つになったクレマチスの花をBlosxomblogに入れる。今日見たプログラムの作品のメモを取る。「ゲージョネット」を検索したら、福井琢也作品『ゲージョネットと風車小屋の魔女』の[脚本のBlog『ゲージョネットと風車小屋の魔女』の使い方](#)を見つけた。11時近く風呂に入る。出て、林檎1個と、薩摩芋小1切れと、酒マン1個と煎餅を食べて温めた牛乳を飲む。葉、一日痛め止めを呑まなかったら、ちょっと痛かった。サプリメント。仕事場に行つて「灰皿町blog日記」を書く。

01:04:51 - shirouyasu - No comments